

被災地派遣職員報告会のコーディネート

ご存知の通り名古屋市は、陸前高田市へパッケージ支援として多分野に長期の職員派遣を行っています。庁内での報告会のコーディネートをしました。

☆身になる報告会にしたい

一般に行われるであろう報告会は、派遣職員が前に出て、決められた時間内に現地での報告をします。複数人いれば一通り全員が報告し、質疑応答をする。というところでしょうか。

果たして、このスタイルでお互いに話したいことを話し、聞きたいことを聞くことができるのでしょうか。せつかくの派遣職員の方々の体験が活かされていくのでしょうか。

双方が満足し、貴重な体験を共有できる報告会をコーディネートしました。

雰囲気盛り上げるため、被災地の写真を壁いっぱい貼りました。



☆こんな方法で！

ご相談を受け、担当の方と打ち合わせしながら行ったのは、

- ・小グループでの話し合い（報告と名古屋市で生かすこと）
- ・ファシリテーターをグループに一人置く
- ・全体での共有も話し合いにする

としました。

☆参加した感想は？

報告会が進むにつれて、派遣職員の話したいことと参加した職員の聞きたいことがかみ合っていく、会が盛り上がっていききました。

- ・貴重な体験を一方的に聞くだけでなく、こちらからの質問もできた。
- ・次回の募集に応募する気持ちが固まった。

などの感想がありました。